

(様式2)

## 学校関係者評価報告書

(愛媛県立新居浜商業高等学校)

学校番号 ( 8 )

評価実施日	令和 7年 2月 13日 (木)		
委員	氏名	所属等	備考
	久保 善嗣	新居浜市立泉川中学校長	
	日野 彰	地元企業代表	
	上西 数正	地域代表	
	真鍋 智明	学校評議員 (泉川公民館長)	
	西原 審	学校評議員 (泉川保育園長)	
	倉藤 竜治	保護者代表 P T A会長	
	三好 久雄	P T A顧問	

評価・提言等	提言等に対する改善方策等
<p>1 今年度の最終評価について</p> <p>(1) 学習指導</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 9月より全校の出席率が94~95%台と低迷した。2学期の運動会以降、ストレスや心身の不調を訴える生徒が目立った。</li><li>・ 生徒異動について、昨年度に比べて、転退学者が減少した。生徒を取り巻く環境は複雑だが、個々に対応できる指導体制をさらに模索したい。</li></ul> <p>(2) 生徒指導</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 特別指導件数が昨年度より増えているが、転退学者数が激減しているという結果より、学校のきめ細やかな指導が功を奏しているものとする。</li></ul> <p>(3) 特別活動</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 運動会を参観したが、生徒たちは本当に明るく爽やかに参加していたことが印象的であった。</li><li>・ 部活動の結果も大事だが、その過程も評価して欲しい。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 社会に出ることを見据えて、遅刻欠席が減少するための方策を今以上に工夫していきたい。</li><li>・ 入学時の目標を見失うことなく、学校生活を安心して送れるよう、今後も指導に努める。</li><li>・ 本校では全教職員が、指導が必要な生徒の状況に応じて、保護者との連携を深めながらきめ細やかな指導ができていると自負している。職員の働き方改革とのバランスを取ることが大事だが、今後とも生徒一人一人に応じた適切な指導を継続していきたい。</li><li>・ 学校行事に対して積極的に取り組む生徒が多くなってきたことはうれしい変化である。今後もそのような生徒を育成したい。</li><li>・ 部活動の指導者として熱心に取り組む教職員が多いことは本校の強みである。今後も生徒のやる気につながるよう見守りたい。</li></ul>

## 2 学校運営への提言

(1) 家庭学習時間の少なさやスマートフォン使用におけるトラブルの増加が見えるが、これは高校だけではなく、小中学校も含めて社会全体の問題でもある。学校の雰囲気は以前に比べて格段に良くなっていると感じている。

(2) 地域の夏祭りボランティア活動に6名の生徒が参加してくれたが、今年は総合司会を任せるなど、より高い意識をもって活動する生徒がいたことがよかった。人数は少なくてもいいので、自分の活動に責任をもってやってもらう生徒が育ってくれればうれしい。

(3) アンケート結果を見ると、教職員が高い意識をもって分かりやすい授業や生徒理解にとりくんでいるが、生徒や保護者には伝わっていないように感じる。もっと学校の活動をPRする機会や手段を工夫してはどうか。

・今後とも保護者との連携を密にして、将来的に地域を支える存在となる生徒の育成に努めたい。

・今後も地域に貢献する生徒の育成に努めたい。生徒達も褒められたり感謝されたりすることで、自己肯定感が増す良い機会となる。本当にありがたい。

・学校インスタグラムやホームページ、マチコミでの情報発信件数は前年度に比べて格段に増えているが、ご指摘を真摯に受け止めて、さらなる改善策を考えていきたい。